

クラブテーマ 「一人ひとりが輝こう」
出会いと絆を大切に

会 長：北 健 司 例会日：金曜日 12:30~13:30
副 会 長：加藤久仁明 例会場：ホテルプラザ勝川
副 会 長：伊藤 一裕 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
幹 事：青山 博徳 TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265
会報委員長：杉本 正樹 E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp



<トボネ>

本日のプログラム (Web 例会)

	司会	会場委員会
・点鐘	会長 北 健司君	
・ROTARY SONG	「われら日本のロータリアン」	
・委員会報告		
・会長挨拶	会長	北 健司君
・卓話		芝田 貴之君
		下田 育雄君
・幹事報告	幹事	青山 博徳君
・点 鐘	会長	北 健司君

先週の記録

会長挨拶 会長 北 健司君
「感動の共有」

皆様こんにちは。本日は私の座右の銘「感動の共有」についてお話しさせていただきます。

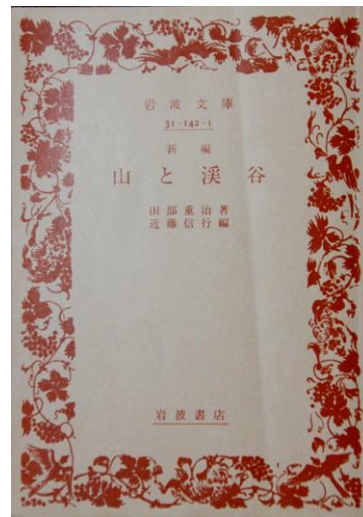
感動には大きな力があります。私がバラに夢中になったのはたった1輪のバラに感動したからです。私とバラとの出会いは40年前になります。30歳の頃でした。元々花や木と言った緑が好きでしたが、日本橋高島屋で開催された財団法人日本ばら会（現：公益財団法人日本ばら会）の本部展のコンテストに出品された花が私を虜にしました。感動しました。本当に素晴らしいと思いました。以後、寝ても覚めても頭の中はバラのことばかりとなりました。感動にはこれほど大きな力があるのかと思いました。

当時我が家の庭には数株のバラが植えてありましたが、たちまち数が増え、以後あらゆる植物がバラに替わっていきました。花が咲けば嬉しくて、感動の日々が続きました。当時を振り返っても大好きなバラのことに夢中になれた自分がちょっぴり誇らしく思いました。

感動には共有する相手が必要であります。明治-大正の英文学者であり登山家であった田部重治（たなべ じゅうじ）(1884-1972年)は、著書「山と溪谷」（大正12年）の冒頭、「山に入る心」の章

2020年5月22日(金)2442回(5月第3例会)

で、『山を歩く時、特に無人の境に漂泊する時、思いがけないほどの自然の美しい姿態が、世にならびない景色とたたえられきったものよりも、遙かに美しい粧おいを以て、幽陰のつつましい溪谷から、あるいは幽林の奥ゆかしい彼方から、見る人の心の落ち着くいとまもあらせぬように、あらわれて来るのに接して、私はいいいしらぬ喜びを感じると共に、顧みて、共に喜びを分けることの出来る友をいつもそういう時に欲する。そして、そういう友のないことを私はむしろ苦痛として感ずることが多い・・・』と感動を共有する友を欲しています。バラは一人では作れないと思います。それは手伝ってくれる人が居るかどうかという事ではありません。感動には共有する相手が必要だからであります。



山と溪谷 田部重治 著

身震いするような美しい花が咲いた時、甘く官能的な香りに出会った時、その感動の瞬間に自分一人しかいなければ感動も寂しいものです。私たちは感動が大きければ大きいほど、一人では耐えられないのではないのでしょうか。「感動の共有」は

5月：青少年奉仕月間

例会	5月29日(金)	6月5日(金)	6月12日(金)
予定	Web 例会	通常例会(予定) 入会式 中澤 一君	通常例会(予定) 卓話 和田 了司君 稲垣 勝彦君

私の自作の造語です。そして私の座右の銘でもあります。私は素敵な花や香り、あるいは感動の場面に遭遇する時、感動を共有できる相手があればこそこの人生であろうと思っています。私はかけがえのない多くの仲間恵まれとても幸せであります。新型コロナウイルスに対しては引き続き、慎重な行動と、辛抱強い対応で収束を待ちたいと思います。収束のあかつきには皆で喜びたいものであります。頑張りましょう。

幹事報告

幹事 青山 博徳君

・これからの RC 活動予定

5月29日金曜 WEB 例会 (2443回5月第4例会)

6月5日金曜 通常例会 (2444回6月第1例会)

6月12日金曜 通常例会 (2445回6月第2例会)

第12回理事会はWEB方式で行います(日程未定)緊急事態宣言解除を受け、6月第1例会から通常例会開催の準備を始めます!

・第11回理事会審議内容のご報告

第1号議案:開始貸借対象並びに4月度収支承認の件

可決承認されました。

第2号議案:『ロータリーフェイス・シールド事業』春日井市民病院寄贈の件

春日井RCより960個贈呈の手配を完了いたしました。

第3号議案:6月度例会・理事会開催方法の件緊急事態宣言再宣言の場合を除きホテル開催での準備を始め例会前の理事会は拘束時間が長くなる為、WEB方式で行います。

・交通児童公園のリニューアル・RCモニュメント看板を寄贈致しました。

・ささえ愛センターとの連携事業で外国籍の市内小学生へ就学支援の為に文房具などをロータリークラブより寄贈致します。

・WEB例会には必ずご参加ください。(2週間以内)メール配信に加え下記方法でも参加できます。

春日井ロータリークラブホームページの会員ページからパスワード8948を入力し御覧頂けます。また、出席・ニコもFAX(0568)82-0265でも承ります。必ず例会コメントを付けて送信してください。

積極的にWeb例会へのコメントをお寄せください。

・新型コロナウイルス感染症の影響で会員間の交流親睦が図れない状況が続いています。WEB例会案内の末尾のニコボックスのご協力と共に、短文でも長文でも結構です近況含めコメントをお寄せ下さい。

・ガバナー事務所より、ロータリーの友は5月号発行中止、5-6月号合併号となります。との連絡がありました。(発行日は未定)

卓話

小柳出 和文君

皆様こんにちは。

新型コロナウイルスの影響で大変な状況の中、このような機会をいただきましてありがとうございます。入会時以来の卓話ですので簡単に自己紹介と、今回は生まれ育った故郷のお話をさせていただきます。

2006年に創業し今年で14年目になります。昨年より「焼き鳥とりまる」のフランチャイズをはじめましてフルパッケージのフランチャイズ店1店舗、商品のみライセンス販売2店舗、業務委託1店舗、直営4店舗、ECサイト(楽天)の経営をしています。

創業時は毎日昼から朝5時まで現場に立って営業していましたが、任せられる社員も育ち現在は開発やマネジメント中心の仕事をしています。

昭和50年生まれ45歳、妻と3人の子供の5人家族です。出身は静岡県伊豆市。伊豆半島中部、温泉で有名な修善寺の南側、中伊豆で育ちました。

伊豆出身と言うと皆さん「良いところで育ったね」と言われますが、まさにコンビニは2軒しかないような農家の多い田舎で、子供の頃は早く都会で暮らしたい。と、ずっと思っていました。東京まで車で1時間半、新幹線なら三島から40分の場所ですので、遊びに行くときは同じ県内の浜松や静岡より東京に行くことが多かったです。

伊豆といえば温泉、当然のように一般の住宅でも温泉付きがスタンダードです。

バブルの頃(私は小学生~中学生でしたが...)山にはエメラルドタウンやダイヤモンドタウンというおしゃれな名前が付き、温泉付きの別荘が次々と出来ました。普段は軽トラックしか走っていない道路も、週末になると他県ナンバーの高級車がたくさん来て、ゴルフ場もたくさん出来ました。

そんな別荘も現在はほとんど使われていなく売りに出されているところが多い様です。中にはマイナス50万といった値付け(所有したら50万円もらえる)の物件もあるそうです。

伊豆は温泉以外にも魚が美味しいです。沼津の干物は有名で中でもアジの干物は全国の4割を生産しているそうです。しかしほとんどは外国でとれたものを沼津で加工して売っています。見分け方は...大きいアジ。バサバサしていて骨がすごく硬いです。母親の実家も伊豆市内ですが修善寺の西側の漁師町で土肥というまちです。沼津の様な大きな船が着く漁港ではないのですが地元でとれた魚を近所の人におすそ分けしてくれるような小さな漁港です。子供の頃は夏休み1か月ぐらい祖母の家でお世話になり海水浴や釣りなどしていました。

早朝、漁から帰ってきた船からおすそ分けをもらい半分は刺身、半分は干物にします。祖母は包丁を使わず親指でブチッと頭を折りそのまま皮まで剥が

してしまうスゴ技で、開きも少し干すだけ。朝食は刺身と干物。これがめちゃくちゃ美味しいです。小さいので骨も柔らかく丸ごと食べられます。旅行に行く際、おいしい料理でお勧めするのは断然西伊豆方面です。ただ、ダサイ旅館が多いので熱海や伊東といった東伊豆が人気になります。

一番お勧めは下田。下田はペリー来航のまちで黒船やペリーロードと言われる石畳やガス灯などとてもきれいに整備されています。

伊豆の最南端で東名沼津インターから車で2時間かかります。新幹線の場合は三島を通り過ぎて熱海まで行き伊豆急下田線のリゾート21という特急に乗ると最高です。相模湾を眺めながら乗れるように片側の座席は全て海向きで大きな窓がついています。トンネルに入ると天井がプラネタリウムになる仕掛けで30年以上前から走っている電車とは思えない豪華さです。

下田で有名なのは白浜海岸でとてもきれいな浜なので是非見ていただきたいです。小さいお子さんがいたら下田の海中水族館もなかなか面白いです。古い施設ですがペンギンやイルカなど触れるほどの近さにいるので名古屋港水族館に慣れていたらビックリします。

爪木崎や竜宮くつといった自然が作ったパワースポットもとてもきれいな場所です。

魚介類もとてもおいしいですが下田ではビックリするような大きさの金目鯛がお値打ちに食べられます。

今は外出自粛でどこにも行けない時期ですが、コロナが落ち着いたなら是非私のふるさと伊豆への旅行もご検討ください。

以上簡単ですが私の生まれ故郷、伊豆の紹介とさせていただきます。

卓話

野間 峰彦君

春日井ロータリークラブの皆様こんにちは。

わたくしは本年1月に入会させて頂きました野間峰彦と申します。

今回例会の貴重なお時間を頂きまして、自己紹介と今の仕事に就いたきっかけなどをお話しさせていただきます。

まず、今回自己紹介資料を作成してしまし、いままでの人生を振り返った時「人間万事塞翁が馬」ということわざがピッタリあてはまることに気づきました。

皆様御存知かとは思いますが、このことわざは幸せが不幸に、不幸が幸せにいつ転じるか分からないのだから、容易に喜んだり悲しんだりするべきではないという例えに使われます。

それでは、改めましてわたくしの自己紹介をさせて

頂きます。

名前は野間峰彦と申します。昭和46年7月25日生まれの只今48歳で、職業は税理士です。

春日井市不二ガ丘にあります税理士法人天道経営の代表をしております。

ちなみに家族構成は妻と中学1年生の長女と小学5年生の次女、義理の母の5人でアウトレットがごぞいます岐阜県土岐市で暮らしております。

さて、実はわたくしは愛知県でも岐阜県でもなく春日井市から400キロ以上離れています鳥取県で生まれました。ところで皆さん鳥取県は日本のどこにあるか分かりますか。よく隣の島根県と間違えられます。

では鳥取県に行ったことのある方はいらっしゃいますか。鳥取県といえば、有名な鳥取砂丘、美味しい二十世紀梨、少し古いですが水木しげるロード、中国地方で一番高い大山（だいせん）。わたしはこの大山の近くで生まれました。

水がきれいで今では天然水も販売されています。このようなところで暮らしていました。

まず、小学生から中学生時代ですが、小学4年生から兄の影響で剣道を習い始めましたが、3ヶ月で辞めてしまいました。その後すぐにその時流行ってましたサッカーを始めて中学3年生までサッカー部に所属していました。その頃の学校の成績は自分で言うのもなんですが、それなりに良かったような記憶があります。

そのため高校進学の際地元の進学校（米子東高校といいますが）に進むという選択肢もあったのですが、ギリギリで進学校に入るよりも、自分にとって無理のないレベルの高校に進学の方が充実した高校生活を過ごせると思い米子西高校に進学しました。（こめこではなくよなごと呼びます。）

1年生の頃は勉強とサッカーの毎日でも学校の成績は上位の方でしたが、2年生になると部活は続けていましたが勉強はあまりせずもちろん成績も下がり、3年生の時は部活を引退しても受験勉強にも身が入らず、その結果大学受験に失敗し、親に頼み込んで1年間の限定で島根県にあります松江予備校という学校に通わせてもらいました。その学校の年間授業料が確か60万円くらいで、振込ではなく親から現金を手渡しされて学校に持って行ったことを鮮明に覚えています。今でも60万円は大金ですが、その当時60万円を手渡しされた時は本当に親に申し訳ないという想いしかありませんでした。自分が住んでいる最寄りの駅から松江駅まで1時間、松江駅から予備校まで自転車で30分ですので毎日片道1時間30分かけて通学していました。高校時代とは別人のように毎日真剣に授業を受けていましたが、ある日授業を受けていた時にふと外を見ると「〇〇税理士事務所」という看板が目に入

まりました。たまたま予備校の隣に税理士事務所があり、何故か気になってしまいました。

その当時私は税理士の存在すら知らなかったの、親にどのような仕事なのか、また自分でも詳しく調べようになりました。今ではインターネットで検索すればすぐに調べることが出来ますが、その当時は本屋で「税理士になるには」のようなタイトルの本を立ち読みする程度でしたので、大学は商学部、特に会計学科がある大学が良いと書いてあり商学部会計学科のある大学を何校か探し受験勉強に励みました。(今ではどんな学部で勉強しても関係ないことはすぐに分かりますが。)

そして商学部会計学科のある専修大学に進学し、簿記の基礎から学びました。昼は大学に通い、夜は専門学校に通うという日々でした。またその時に今の奥さんと出会いました。

ちなみに、税理士になるには試験科目 11 科目のうち 5 科目合格すること、または大学院に進学し学位を取得すること、税務署に一定期間勤務することにより資格を取得することが出来ます。

私は税理士試験を受けながら大学院進学を目指し、大学のある神奈川県から愛知県に引越しました。中区金山のレトロなアパートで確か家賃は 35,000 円でした。大学院受験のため法律の勉強をしながら生活費も稼がないといけないためアルバイトの面接で名古屋市内をウロウロしていましたが、私としては東京よりも名古屋の方が地理的に難しく何度か迷ってしまいました。

そこで絶対に迷わないであろうナゴヤ球場で売り子のバイトを始めました。但しナゴヤ球場も一度も行ったことが無かったため内野の売店に行くはずが、外野の売店に行って笑われました。

バイト雑誌の募集では、2 時間で 5,000 円以上稼げると書いてあり、その当時時間に制約のある自分にとってはなんて効率の良いバイトなんだろうと思いましたが、ジュース 1 本 350 円売れたら 1 割の 35 円が自分のバイト代という結構シビアなものでした。今思えばアルバイト 1 人 1 人に入場証を与えるためアルバイトを雇うための固定費もかなりかかっていたのだからバイト代がシビアになるのも仕方ないと思います。

生まれながら極度の人見知り、コミュニケーション能力が低い私にとっては最も向いていない仕事だったと思いましたが、アルバイト初日に売店の店長にも売上高が売り子の中で一番少ないから辞めればと言われました。本当に向いてないから辞めようかと思いましたが、今までしてきたアルバイトは時間給だったので逆に歩合給ということが新鮮で毎試合後ノートにナゴヤ球場の図を描いてどのように回れば売上が伸びるのか研究していました。

その甲斐あって 1 カ月後には売店で一番売上げることが出来るようになり、そのころにはお客さんと

のコミュニケーションもとれ、1 試合で 1 万円以上のバイト代を稼ぐことも出来るようになりました。アルバイトをしながら 1 年後なんとか愛知学院大学の大学院に合格し、商法を中心に、民法、憲法、国際法のほか経営学も学びました。このように幅広い知識を習得したことが今の仕事にも役立っていると思います。その後大学院を無事卒業し今の事務所に就職し現在に至ります。

現在の事務所に就職してから 20 年以上になりますが、仕事に対する当初のイメージと実際仕事をした時のギャップがありました。

当初のイメージは 1 日中事務仕事 (デスクワーク) をして、経理や税金の知識だけあればよく、お客様からは数字が合っていれば満足され故にどの税理士に依頼しても仕事が画一的で個性がない職種だと思っていましたが、実際はデスクワークというよりも外回りの方が多く、経営者と話をする事で税金の知識以外にも、経営、法律、労務の知識が必要であり、経営者も数字以外に税理士との相性が合うかどうか、また事務所のサービスも多様であるなど働く前の自分のイメージとかなりギャップがありました。

冒頭でもお話ししましたが、自分の中で思い通りにならないことや不幸なこと、回り道していると思った事でも腐らず諦めずに継続していると将来自分の役に立っていたというお話を自己紹介を兼ねてさせて頂きました。

今回の新型コロナウイルスによる社会情勢もすべての業種にとって今は不幸なことばかりだと思いますが、裏を返せば今後の生活スタイル、働き方にとっては大きく変革することができる機会だと思います。まだ先のことですが、アフターコロナについても皆様と情報交換出来ればと思っております。結びになりますが、この度伝統ある春日井ロータリークラブに入会させて頂き、皆様との出会いと絆を大切に活動してまいりますので今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



会長挨拶 北 健司君



速報
「春日井在住外国人中学生学習応援プロジェクト」
担当 国際奉仕委員会 詳細は次週の会報で



卓話 小柳出 和文君



速報
「春日井市交通児童遊園へのモニュメント寄贈式」
担当 青少年奉仕委員会 詳細は次号にて！



卓話 野間 峰彦君

Rotary
Club of KASUGAI

